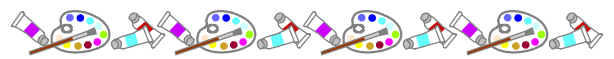
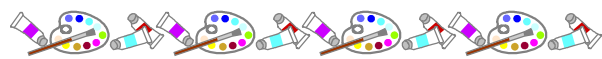


## 学校アンケート結果について

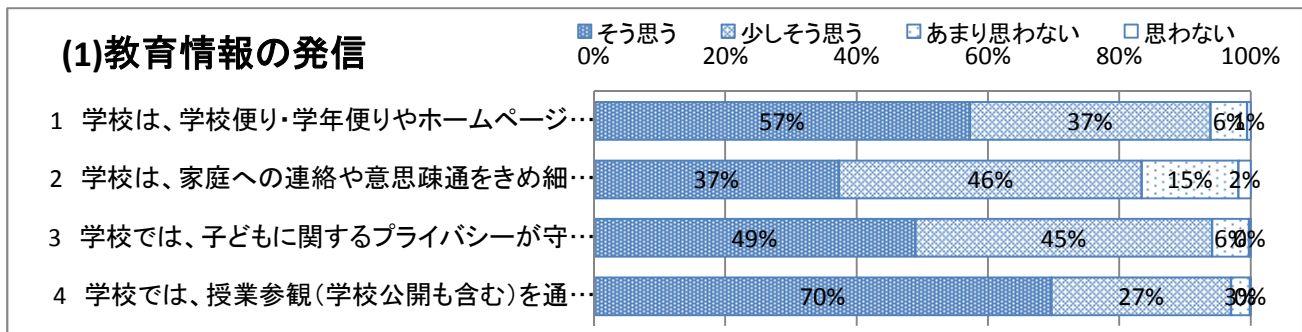
吹田市立千里新田小学校  
校長 國領 美佐子

学校アンケートへのご回答並びにご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。全学年児童、保護者の皆さまを対象に実施させていただきました。アンケートの結果やお寄せいただいたご意見を参考にし、次年度の本校の教育活動に役立てていきたいと考えております。

記述意見につきましては、内容が同じような意見は一部抜粋して掲載させていただき、個人が特定される表現や内容については掲載を控えさせていただいておりますが、アンケートは全教職員で閲覧し、改善に努めるべく検討しておりますことをご理解ください。アンケートの集計結果をグラフに表示し、記述していただいたご意見とともに学校での取組や今後の対応についてご報告いたします。文字量が多くなっておりますが、是非お読みください。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。



### □教育情報の発信(設問1~4)



**【結果の概要】** 教育情報の発信については、1, 2, 4については、「そう思う」、「少しそう思う」を合わせると94%以上の方から肯定的な回答をいただきました。4「授業参観(学校公開を含む)を通して子どもたちの様子がわかる」の「そう思う」の回答は、昨年度より少し上回りました。また、2「家庭への連絡をきめ細かく行っている」は、約83%の方が肯定的に捉えていただいておりますが、「そう思う」37%と他の項目よりも低い傾向にあります。「あまり思わない」の回答が15%あり、昨年より下回ったものの今後の課題となるところです。

**【記述から】** 学校便り、メール、参観・懇談に関するご意見をいただきました。

#### ○学校だより・学年だより・メール等について

- \*ホームページの更新があまりされていない。特に学年ごとのブログ
- \*ホームページの更新をもっと増やした方が良いと思う(特に学年のページ)。
- \*学年便りがいつも月末ギリギリでもう少し早くしてほしい。

#### ○参観・懇談等について

- \*参観など、親が学校に行く行事がとて多く共働き世帯のため出席できないこともあります。
- \*公開日の日数を増やして欲しい。

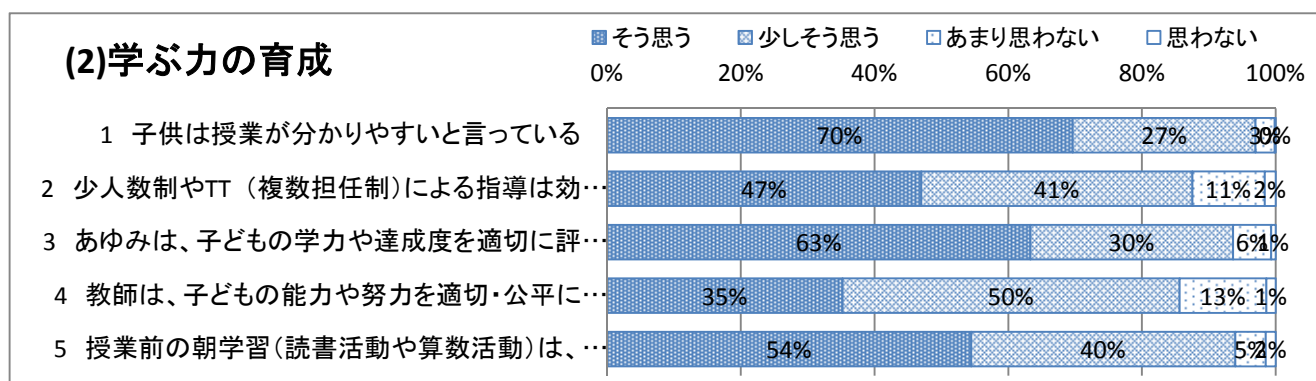
#### ○メールについて

- \*もう少しメールを活用した連絡をしてほしい。今年の運動会の時、天気が微妙だったので開催するにしても連絡してほしかった。
- \*宿泊を伴う学習時、せめて豊中ICとか吹田ICなど近くの地名での連絡にしてもらいたい。渋滞など、時間がよめないのは仕方ないことは皆理解してと思う。

## 《今後の取組》

- ・参観・懇談・学校公開日は、子ども達の普段の様子を見ていただく機会として、運動会・音楽会などの学校行事等は、子ども達が学習の成果を披露する機会として設定しています。公開日などの回数を減らすと、全ての方のご都合の良いようにするのは難しく、参観いただく機会も減ってしまうため全部の日程を参観しないといけないというのではなく、保護者の方々が都合のつく機会を少しでも選べるようにできるだけ機会を多くし、曜日もできるだけ固定しないように日程を調整しています。が、ご希望に添えない場合もありますことをご了承ください。昨年度と同じように外国語活動や専科（理科や音楽）なども日程や時間割が合えば参観していただいております。1年生と4年生の「身を守る方法」の授業はPTAと地域（人権啓発推進協議会）の協力で実施しており、教職員・全学年保護者対象の公開としています。次年度も協力いただけるようでしたら実施していきたいと考えております。
- ・「たけのこメール」は、PTA会費で費用を賄っていただき、学校からの配信にも使用させていただいています。メール加入のない方にはその都度電話連絡をさせていただいています。メール配信した場合を全て電話連絡できませんので、情報の公平性を考え学校からは緊急性の高い事項を中心に配信させていただいております。配信につきましては、学校の決まったパソコンからの発信で、配信操作が携帯電話のように簡単ではなく、配信操作については、複数で確認しております。
- ・運動会はできるだけ予定通りに実施する方向で、ギリギリまで天気予報図を見ております。中止についてはホームページ上でも配信準備はしておりますが、有無の連絡につきましては、再検討課題といたします。

## □ 学ぶ力の育成(設問5～9)



《結果の概要》どの項目についても80%～90%以上の肯定的な回答をいただきました。2「少人数制による指導は効果的である」は、「そう思う」47%、「少しそう思う」41%と多数の方から肯定的な回答をいただきましたが、まだまだ工夫の余地があると思います。3「あゆみ」については、昨年を上回る63%の方に「そう思う」との回答を頂きました。現在の評価の方法は、教科を総合的に評価して「1～5」で表すのではなく、意欲や思考なども細かく見る事が学習指導要領で求められています。学習内容の達成具合は、テストの点数だけでなく、日々のプリント等の出来ている内容と間違いの多い内容とをよく見て頂くとともに学校からもより具体的な説明を心掛けていきたいと思っております。記述でもご意見をいただきました

《記述から》少人数指導に関する意見、学級人数に関するご意見を多くいただきました。

\* 5、6年でも少人数指導を行ってほしい。

\* 1学級の人数を少なくする。

\* 短縮授業が多く、授業数が少ない。 \* 新任教員への指導 \* 宿題の量についてと \* 教員の業務に関してねぎらいの言葉も頂きました。

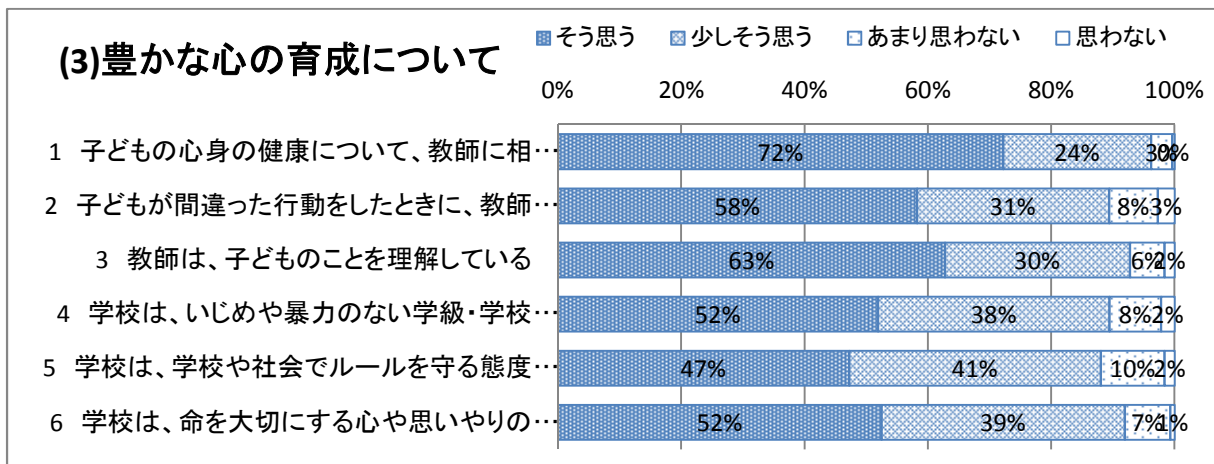
## 《今後の取組》

- ・少人数指導を全ての学年で実施したいところですが、少人数指導に当たる教員については、本校は大阪府から

の配置が1名のため、学習内容が難しくなる4年生の算数を中心に一部3年生の算数も単元によって、少人数指導を実施し、時間的には**いっぱい**の状況です。どの学年でも少人数指導を行いたい思いは学校としても強く持っており、要望もしていますが、学級数の兼ね合いで時間割上、この他の学年で実施するのは難しい状況です。

- ・指導方法については、学年で検討したり、情報交流をしたりして指導に当たっています。今年度は、研究教科を「国語」とし、「説明文」の教材を中心に自主的に学習する方法について全学年で研究をしています。校内での全体研修、研究授業の他、府や市の研修などでそれぞれの教員が研鑽に努め、授業の指導力向上を図っています。また、十分とは言えないかもしれませんが、校長・教頭による指導・助言も必要に応じて行っています。教職員一同子ども達の学力、生活力育成のためにさらに研鑽に努めていきたいと思えます。
- ・1学級の人数につきましては、国の基準で40人（1年生は35人）となっています。2年生については、大阪府が独自で35人学級としています。また、教員の配置人数には規定があり、学級数で決められています。学校単位では変更できない内容です。
- ・授業時数につきましては、定められた時数を下回ることはないよう「短縮時程」でも授業をカットせず、昼休みの時間で調整しています。できるだけ児童の負担にならないように配慮していきます。

### □豊かな心の育成について(設問10~15)



《結果の概要》どの項目についても「そう思う」に40%以上、「少しそう思う」を加えて88%~90%以上の肯定的な回答をいただきました。ただ、5「社会でルールを守る態度…」の項目では、「そう思う」が47%となっており、記述にもある「挨拶があまりできていない」こともあるのかなと感じました。

#### 《記述から》

- \*校内・校外で挨拶する人が少ない。
- \*挨拶がもう少しできるようになっても良いと思う。
- \*具体的な誉め言葉を先生からも伝えてほしい。
- \*一小一中のため、進学後も友人関係やクラスの中での立ち位置が変わりにくい。小学生のうちにお互いを認めて、自尊心を養ってほしい。

#### 《今後の取組》

- ・挨拶を無理強いするものではありませんが、コミュニケーションの始まりと捉えて、気持ちよく声を掛け合えることを大切にし、挨拶運動は、委員会や自発的に門に立つなど挨拶週間をもうけて取り組んでいます。例えば、中学校と連携して生徒会・児童会で「あいさつ運動」(年2回)をしたり、児童会や4年生・5年生が、「朝のあいさつ」をしたり、教員も門に立つ日を決めて挨拶に取り組んだりしています。今後も生活指導の目標に上げ、朝の挨拶運動の実施・集会での指導・日々の声かけなどを通して、指導していきます。

こちらから声をかけると返ってくる場合が多く、自発的に挨拶ができているかは、課題です。ご家庭でも、



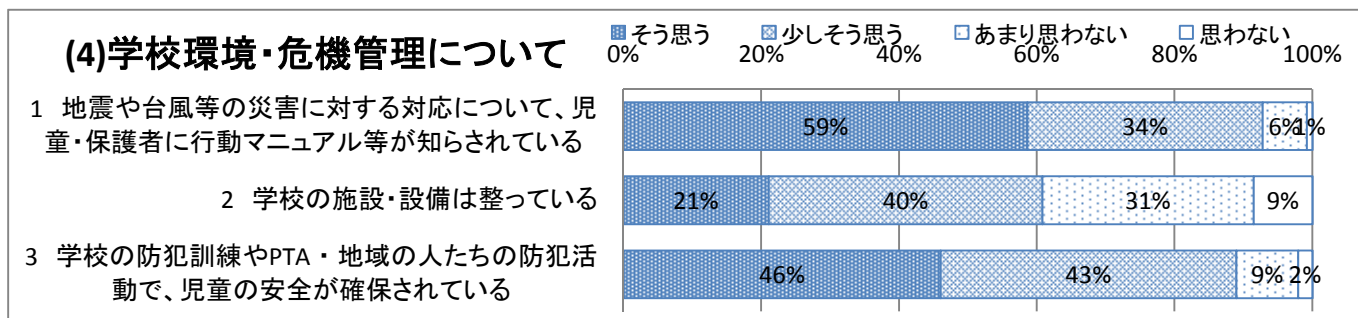
家族でのあいさつや気持ちよく送り出すなど安心して登校できるようご協力願います。

ここで「朝の立ち当番」さんからの声を紹介します。ーいつもありがとうございますー

- \*坂道からおりてくる自転車が危ない。挨拶をしない子が結構いる。元気に返事が返ってくるといいなと思う。(ガスト前)
- \*子ども達の通学の様子が分かり有意義でした。(ガスト前)
- \*毎回のことですが、児童から挨拶が返ってこないのが残念でした。(砂子谷交差点)
- \*車が多く渋滞、スピードを出す車もあり、危険。子ども達がほとんど挨拶をしてくれず残念。(砂子谷)
- \*みんな元気に挨拶してくれました。(砂子谷)
- \*車やバイクの行き来が多く、子ども達は広がって歩いて危険だと思った。通学時間帯は通行止めになるといいなと思った。(ヒヤシンス遊園)
- \*雨の日でしたが、子ども達はしっかり傘を差して登校できていた。(児童センター前)
- \*子ども達は注意を聞き、立ち止まってくれた。挨拶は、子どもからしてくれる子もいた。(春日台ハイツ)
- \*車や自転車を確認して渡る子はいなかった。挨拶が全くできない。こちらに返す子も目を向ける子すらいはないのは、非常に情けないことだと感じた。(春日台ハイツ)

また、子ども達一人ひとりの様子の把握やいじめに対する対応などには、常に研修に努め、迅速に対処できるよう今後も努めます。ご家庭との連携も密にさせていただきながら進めていきます。

#### □ 学習環境・危機管理について (設問16～18)



《結果の概要》1「災害に対する対応」については、90%以上の肯定的な回答をいただきました。集団下校や引き取り訓練の方法も定着してきましたが、学校でも訓練の手順は毎回確認し、職員も適切に対応できるよう心掛けています。3「児童の安全」については、「そう思う」「少しそう思う」を合わせて89%となり、昨年より1ポイント低く、逆に「あまり思わない」が1ポイント高くなっています。朝の見守りや青パトの取り組みは、月曜日は保護者の方が、火曜日から金曜日は、地域の高齢クラブ・地域防犯・民生委員さん・個人のボランティアの方(孫のために・子どもは卒業したが続けている)のご協力をいただいています。保護者・地域の皆様、いつもありがとうございます。

2「学校の施設」については、本年度も約40%の方が、「あまり思わない」「思わない」との回答でした。小さな修理はこまめにしておりますが、大規模な改修を必要とする事柄については市の予算のこともあり、対応ができていません。平成28年度は、北校舎の大規模改修が実施され、随分快適な教室となりました。今後の工事については、

- 平成29年度… 中央・南校舎の改修(教室内・廊下のマット・窓枠のサッシ化・外壁塗り替え)
- 平成30年度… トイレ 改修1階～4階(中央・西)の2箇所
- 平成31年度… 体育館改修

以上の予定と聞いております。

《記述から》例年と同じく、トイレに関してのご意見が多数ありました。

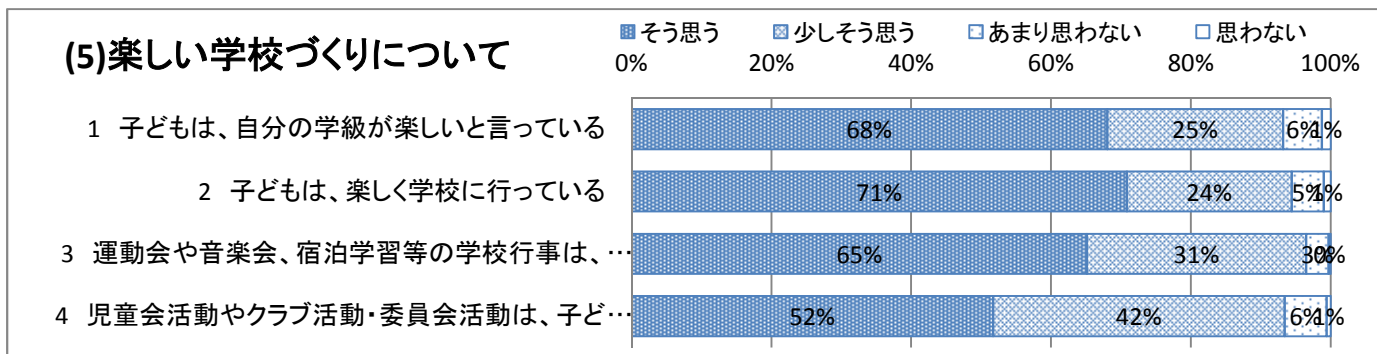
\*トイレの改修を希望される意見が多数ありました。

○その他 \*西門の開閉に関するご意見や廊下に風よけの壁があるとよい、放課後の運動場の開放等についてのご意見もありました。

### 《今後の取組》

- ・平成25年度・26年度は校舎の耐震補強工事、平成27年度は教室へのクーラー設置工事が行われました。平成28年度は、北校舎の大規模改修が行われ、今後は上記の予定で随時、改修が予定されています。
- ・西門は、幼稚園の登園・降園時は、幼稚園の警備員さんが立哨中なので開いています。授業時間中は、安全確保のため閉門させていただきます。参観の際の西門の開閉については、今後検討していきますが、今のところ立哨して安全確認するための余剰人員はないのが現状です。

### □ 楽しい学校づくりについて（設問19・20）



《結果の概要》 「学級が楽しい」「学校に楽しく行っている」に68%～71%の肯定的な回答をいただき、学校としてもとてもありがたく、うれしく思います。ただ「あまり思わない・思わない」も5%くらいあり、見逃すことなく、子どもの様子に応じたきめ細かな対応も工夫する必要があります。

「学校行事」については概ね肯定的に受け止めていただいていると言えます。

「児童会活動・クラブ活動・委員会活動は子どもが進んで活動できるよう工夫されている」についても概ね肯定的な回答をいただきました。

### 《記述から》

\*安心して学校に通学できている。といった学校にとって励みになる記述もしていただきました。

\*行事ごとに保護者が感想を言えるアンケートがあってもよい。

\*学校生活は、周りのお友達や担任の先生で決まる。特に担任の先生は大事。

\*保護者の意見を苦情と捉えず、いろいろな角度で調査してほしい。

\*今のように担任と子どもの心の距離が近い関係を築いてほしい。

\*その他、文化クラブの設置や水泳が厳しい…等のご意見もありました。

### 《今後の取組》

・年間の主な行事は、行事を通して児童の成長を図るよう、ねらいを設定し、行事の計画案を練り、実施後の反省を教職員全体で行っています。本番までの過程や挑戦したことや頑張ったことへの達成感、お互いに見て学び合うこと等を大切にしていることは、例年と変わりません。保護者の方々に見ていただくことで、子どもたちの励みにもなります。ただ、音楽会は、静かに演奏を鑑賞することが重要ですし、カメラを意識して子ども達の集中がそがれることが懸念されますので、撮影を控えていただいています。行事の内容については、毎年を踏襲するだけでなく工夫していきたいと思えます。行事の感想などを連絡帳でいただく場合もあり、何かありましたら連絡帳でお寄せください。行事ごとの感想を書いていただく用紙も検討します。

・クラブ活動については、教育課程の中で行う課内クラブと授業とは別で行う課外クラブとがあります。吹田市ではこれまで学校の教員が中心となって朝や放課後に指導を行ってきた経緯があり、両者を混同して認識されているところがあります。

■課内クラブ…教育課程に位置付き、4・5・6年の児童は全て参加し、年間10時間程度時間割に入れ込んで実施しています。

体育館・運動場・卓球・マンガ、イラスト・パソコン・器楽・読書・切り絵・クラフト・将棋・表現・家庭科  
手品・アウトドア・ダンス

■課外クラブ…申し込み制で、自由参加です。活動は、朝（始業前）や放課後、休日に行っています。（バスケットボール・バレーボール・サッカー・卓球・バトミントン）

子ども達の活動の機会を広げようと教員の自主的な活動として実施しています。外部コーチの方をお願いしているクラブもあります。担当する職員が転勤等の場合、そのクラブができなくなることもあります。本校では、現在実施している上記5つのクラブが存続できるよう毎年教員で相談して、担当者を決めています。必ずしもその種目に精通しているからではなく、存続のために担当してもらっていることもあります。

他市では社会体育に位置付け、学校とは別のクラブチームとしているところもあります。

朝の学習に支障のないよう朝練を終えて、8時25分までに教室に行き、朝の準備をすることや宿題や日々の学習もきちんとするように各クラブで申し合わせています。

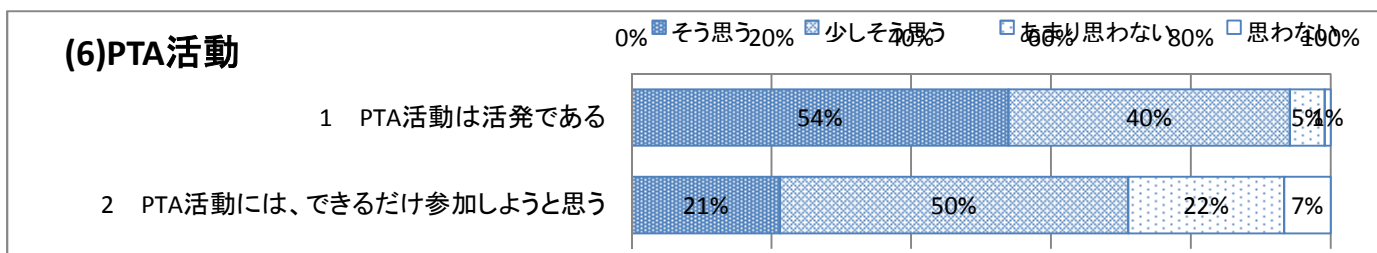
#### ・放課後の運動場開放について

自由に遊ばせてあげたい気持ちはありますが、現代の社会状況により安全上の問題から無防備に開放することはできません。また、放課後には会議・学年打ち合わせ・教材の準備・研修や担当する係での出張・採点や課題の点検等の業務があり、教職員が見守りをすることは大変難しい状況です。下記のような取組がありますのでご利用ください。

■「太陽の広場」…毎週水曜日の放課後開設。フレンドさん（有償といってもほぼ無償に近いボランティア）の見守りのもと低学年図書室や運動場の開放を行っています。参加は自由。フレンドさんには地域の方が中心で一部保護者も参加してくださっています。フレンドさんが増えれば、開放日も増えるかもしれません。

■土曜日の運動場開放…月1回、土曜日の午前中に運動場開放を行っています。青少年対策委員会の方が見守りをしてくださっています。参加は自由です。

#### □PTA活動（設問23・24）



《結果の概要》 昨年同様94%の方が「PTA活動は活発である」に「そう思う・少しそう思う」に回答されていました。しかし、「参加しようと思う」では「そう思う」の回答が21%で昨年より4ポイント下回りました。「少しそう思う」は50%でした。また、参加について「あまり思わない・思わない」への回答が29%あり、昨年より4ポイント増加していました。

《記述から》 記述では、文章表現の違いはありますが、概ね、「仕事があって参加できない。」「働いている者には厳しい。」「負担が大きい。」「働いている親も参加できるように。」「子どもは楽しいが、親には負担。」というご意見が多くありました。この他には、

\*いろんな意味で検討していることがアンケートでわかり、うれしく思う。

\*全ての行事が工夫と先生方の協力できていると思う。



\*仕事を休めず、参加する気持ちはあるが、参加できないのをどうしたらいいかわからない。 …等。

《今後の取組》保護者の皆様には、日頃よりPTA活動にご協力いただきありがとうございます。また、役員・委員のみなさまには、小さいお子さんを連れての参加や都合をつけていただき、ご苦勞をおかけしております。大変感謝しております。

昨年度より、PTA本部や各委員の負担軽減を考えていこうということで、前会長さんから引き継いでいただき、本年度もいろいろと考えていただいているところです。

学校行事の運営に関しては、保護者頼みとならないよう教職員で実施しており、今後も保護者の負担とならないようにしていきたいと思います。夏祭り、もちつき等は、元はPTA主催行事として運営されていた経緯があります。子ども達のために安心して楽しめることをしようという気持ちからスタートしたと聞いています。

たくさんの児童が参加する地域とPTA共催の行事につきましては、引き続き保護者の皆さまの協力をお願いしたいと思います。

PTA活動についていただいたご意見は、PTA本部役員の方にもお伝えし、今後の運営の参考にさせていただきます。

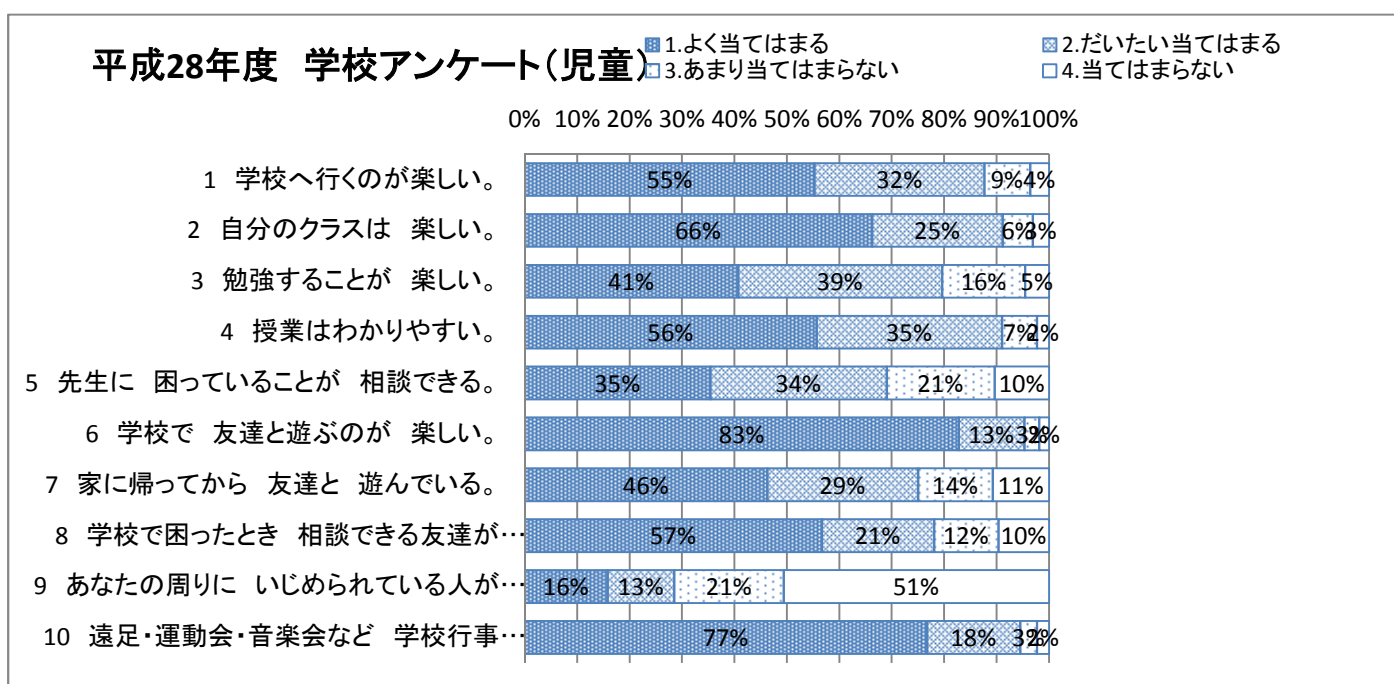
### □学校をよりよくするために…の記述より

《記述から》多岐に渡りたくさんの記述(38)がありました。「児童数・教員の配置」に関することや「教員の指導」「運動会に関して」昼食の食べ方や組体操への応援、等を含む多数のご意見をいただきました。

### 《今後の取組》

頂いたご意見は、全て全教職員で閲覧し、内容は全員で共有しており、全体で確認すること・個別に対応し、指導するなどに生かしていきたいと思います。

### ※学校アンケート(児童アンケート)より



《結果の概要》学校やクラスが「楽しい」は、ほぼ半数以上でしたが、「勉強」については41%でした。「だいたい当てはまる」を加えると80%（昨年は79%）でした。

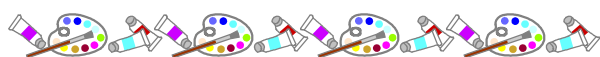
「相談できる」については「友だち」が78%に対し、「先生」はよく当てはまるが35%、だいたい当てはまるが34%でしたが、31%があまり当てはまらない・当てはまらないと答えていました。この点については、指導や対応の今後の課題と受け止め、対処を図っていきます。「周りにいじめられている人がいる」には、「そう思う」に16%、「少しそう思う」に13%と合わせて約30%の児童が回答していました。昨年より4ポイント減少したものの30%

の児童が感じている事は、重く受け止めなければなりません。人との関わり方や自信を持って行動できる子どもの育成に向けて、丁寧な指導を心掛け、周囲の大人の言動が、子どものいじめの素地になってはいけない事も肝に銘じて、指導にあたりたいと考えます。約90%の児童が「授業はわかりやすい」と回答してくれたことは、学校としても嬉しいことです。

**《今後の取組》** 勉強することは、何でも簡単にできる楽なことではありません。時には努力することは、苦痛を伴うこともあります。昨年同様、今後も研鑽を積み、あまり得意でないと思っている児童にもわかりやすく、達成感を持たせる授業作りをしていかねばならないと考えています。「アクティブラーニング」という学習方法が、最近よく言われています。先生が一方向的に教える、子どもは教えてもらうのではなく、子どもが自分で、自分の学びを進めていくことが重要視されています。新しい学習指導要領でもこの力をつけることが求められています。子どもに考えさせるための授業の手だてを考える授業づくりを校内の研究課題と位置付け国語科を中心に、講師を招いての研修を今年度は全7回実施しました。次年度も取り組んでいく予定です。

また、いじめられている子がいるということは、いじめる側にまわっている子がいるということです。「いじめは絶対にいけない。荷担しても、見て見ぬふりもいけない」という観点で、子どもたちの人間関係のあり方にも目を向け、把握し、私たち教員の言動にも十分気をつけて、きめ細かな指導にあたらなければならないと強く思います。授業の準備や日々のノートの〇つけばかりに追われて、休み時間に子どもたちと遊ぶなどの時間が取りにくくなっています。毎日の点検も大切ですが、余裕を持って子どもたちの行動を見守ることができるよう作業の効率化も図っていきたいと考えます。

今後ともお子様の健康管理、提出物へのご協力などを含め、学校教育活動へのご支援をよろしくお願い致します。



様々なご意見を一喜一憂しながら読ませていただきました。良い事ばかりを聞きたいのは人情ですが、「広報がたりないな。」とか、「う～ん、そうか。」とつぶやきながら、批判や苦情といった受け止めでなく、ご意見をよく吟味して改善すべきことは検討していかねばならないと思っております。

貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。

